



困っています プラごみの汚れ・危険物

収集されたプラスチック製容器包装ごみ（プラごみ）の中をしてみると、汚れたものや刃物、火災の原因になるようなものがたくさん混ざっています。特に汚れたプラごみは、写真のようにきれいなプラごみまで汚してしまい、結果的にリサイクルの妨げになってしまいますので、可燃ごみに出してください。また刃物などは手選別の際に危険なので混ぜないでください。

汚れたプラごみは可燃ごみへ

▼液体はきれいなプラも汚します



▲リサイクルのために、手作業で異物を取り除きます



出せるもの 出してはいけないもの

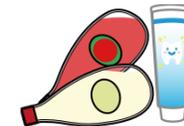


汚れていないプラマークの表示のあるもの

袋類 レジ袋やお菓子の袋等



チューブ類 マヨネーズ・ケチャップなどの容器、歯磨きなどのチューブ



カップ・パック類 プリンなどのカップ、インスタント食品や弁当の容器、卵のパック、豆腐の容器など



発泡トレイ類 発泡トレイ、発泡スチロール



ボトル類 シャンプー、洗剤、調味料などのボトル



キャップ・ラベル類 ペットボトルやペットボトルなどのキャップ、ラベル



刃物、電池、充電池、ボタン電池やライター、注射針等の医療廃棄物



汚れたもの

汚れたものは可燃ごみへ

ストローや歯ブラシなどのプラスチック製品



↓ **ベール（適合物）**



重さはおよそ250kg！

いろいろな形でリサイクルされています

マテリアル（材料）リサイクル

廃プラスチックを溶かしてもう一度プラスチックの原料にして新しい製品を作ります



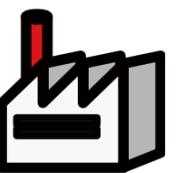
プランター



擬木

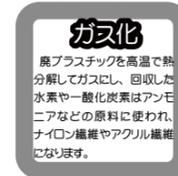


パレット



ケミカルリサイクル

化学的な処理をして、化学原料や鉄を作るときに還元剤などに利用されます



ガス化



高炉還元剤化



コークス炉化学原料化

廃プラスチックを高温で熱分解してガスにし、回収した水素や一酸化炭素はアンモニアなどの原料に使われ、ナイロン繊維やアクリル繊維になります。

廃プラスチックをコークスの代わりに使い、鉄を作ります。

廃プラスチックを石炭と混ぜてコークス炉に入れます。高温で熱分解され、高炉の還元剤となるコークス、化学原料となる炭化水素油、発電などに利用されるコークス炉ガスができます。

イラスト出典：一般社団法人プラスチック循環利用協会